

「馬印の氷砂糖」の販売につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
目にも鮮やかな新緑の季節を迎え、いよいよ氷砂糖の商戦もたけな

わに入ってきました。今回は4月10日に冰糖組合で和歌山南部地区の青梅の生育状況を視察して参りましたので、ご報告申し上げます。
梅酒・梅シロップ用氷砂糖の販売の参考にして頂ければと願います。

和歌山の梅の状況

開花はほぼ平年並みの2月中旬から3月初旬に迎えました。期間全般にわたり低温の日が多かったため、ミツバチの動きが鈍く、受粉のタイミングがあまり良くなかったようです。地域、園地、樹体で着果に大きなバラツキが見られ、特に開花の早かった平野部ほど着果数が少なくなっています。現在1~2cmの実を付けており、成育ステージは昨年より約一週間遅れています。

4月8日の着果調査では、前年比84%、過去6年平均比94%とやや少なくなっています。ただし、着果数がそのまま収穫量に直結するものではなく、今後の気象条件、生理落果程度、果実の肥大状況等によって大きく左右されます。一般的に着果数が少ない場

合、生理落果が少なく、大玉傾向になります。青梅の出荷開始は昨年よりやや遅く5月25日頃になると思われます。

梅干は、中国産の輸入量が減少し、過剰在庫が解消されつつも消費量は年々減退しています。産地としては、青梅の販売比率を現在の10~15%から25%まで増やすため、積極的に消費宣伝に取り組んでいます。全国の青果市場に販売促進を働きかけたり、消費地に出向いて梅の加工講習会等も手掛けています。氷砂糖の販売にとっても追い風で、店頭では昨年以上の青梅が並ぶことが期待されます。



「南部川」平成20年4月10日撮影

青梅地区別収穫量(t)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
和歌山	61,600	69,300	67,100	69,600
群馬	8,380	8,260	8,340	7,760
福井	2,560	2,040	2,100	2,270
奈良	2,970	2,870	2,940	2,190
長野	2,760	2,520	2,420	2,620
徳島	1,530	1,350	1,160	1,160
山梨	2,570	-	2,400	2,190
全国	113,700	123,000	119,800	120,600

冰糖価格のお願い

既にご案内通り、大幅な値上げをお願いしております。事情ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

また、量販店様売価につきましては、下記にてお願いしておりますので、ご参考にして下さい。

平成20年度一般量販店シーズン売価予想

	平成19年度	平成20年度
ロック	398円~448円	418円~468円
クリスタル	378円~428円	398円~448円

ホームページのご案内



〔パソコン用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/>
〔携帯用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。又、携帯サイトは、お手持ちの携帯電話で、アドレスを直接入力して頂くか、携帯電話のバーコードリーダーでバーコードを読み取ってください。URLの入力なしで、カンタンにアクセスできます。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

「南濃梅園」平成20年4月9日撮影

以上